

(記入例)

様式第1号_ (第4条・第5条関係)

令和 年 月 日

(所属部局等の長) 殿

部 局 等 名 : ○○○学部

研究代表者 : 香川太郎
(又は研究分担者)

研究環境改善費活用申請書(仮・本)

本プロジェクトにおいて、研究プロジェクトに専念したいため以下のとおり研究環境改善費の活用を申請します。

なお、研究活動等の実施にあたっては適切にエフォート管理等を行います。

| 本 プロ ジ ェ ク ト | |
|----------------|--|
| 研 究 課 題 名 | ○○の価値を創造する○○○○○○システム |
| 研 究 期 間 | 令和2年12月1日 ~ 令和7年3月31日 |
| 競争的研究費名 | 戦略的創造研究推進事業 (CREST) ※研究環境改善費を計上している研究費名を記載すること。 |
| 研究活動に従事するエフォート | 15% ※競争的研究費に応募時に記載の当該研究のエフォート(%)を記載する。 |

| 研究環境改善費の活用について | |
|-----------------------------|--|
| 希 望 す る 期 間 | 令和3年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (4年間) |
| 活用に必要な経費 (年度ごとに記載) | 100万円 (各年度とも: 100万円) ※年度ごとにエフォートの範囲内で必要な経費を記載してください。 上限額 PIの年間給与額 (本給表(5級○○号俸)) × エフォートの (10) % |
| 希 望 す る 活 用 策 (具体的な活用内容) | ■自身の処遇改善等 (4 / 10) 「(a1) PI本人に対する手当としてほしい。 () 」 ※()は研究環境改善の使途から選んで記入ください。 |
| | □大学の研究力向上のための取組み (/ 10) 「 」 |
| ※活用策は複数選べます。 | ■部局等の研究力向上のための取組み (6 / 10) □研究「人材」の強化 (/ 10) 「() 」 □研究「資金」の配分 (/ 10) 「() 」 ■研究「環境」の整備 (6 / 10) 「(d1) 研究設備・機器の維持経費に充ててほしい。 」 ※()は研究環境改善費の使途から選んで記入ください。 |

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 備 考 | (注)・経費の活用にあたり、留意すべき事項がありましたら記載すること。 |
|--------|-------------------------------------|

- ※1 本申請書(仮・本)は、部局等の長への相談時は仮申請、採択決定後は本申請として記載してください。
- ※2 PI等は、本経費の活用を希望する活用策と具体的な用途について、本申請書に可能な範囲で記載の上、部局等の長と相談の上で、競争的研究費の直接経費へ計上すること。
- ※3 香川大学における競争的研究費等の直接経費の執行に係る活用方針を参考として記入ください。
- ※4 研究活動に従事するエフォートは、研究者の全仕事時間を100%とし、それに対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合となります。
- ※5 部局等の長は、本申請書(仮・本)の写しを添えて学長へ報告すること。

香川大学長 殿

部局等の長： _____

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書 (令和〇年度)

1. 実施状況

| ①事業名 | ②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数(人) | ③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額(円) | ④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額(円) |
|------|----------------------------|---------------------------------|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | | | |

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

(記載例)

- ・研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額の〇%相当を、当該研究の応用に係る研究費として配分し、当該研究者の継続的な挑戦を支援することにより、研究成果の更なる発展に寄与した。(※関連する論文が執筆された等あれば記載ください。)
- ・間接経費と一体的に活用し、新たに若手研究者を〇名雇用することにより、研究体制の強化を行った。

※ 他の経費と一体的に活用することも可能です。その場合はどのような経費と併せて何の取組に活用したか分かるように記載してください。

※ 必要に応じて参考資料を添付してください。